

報道資料



発表日：平成31年 2月 8日

所 属：公立大学法人奈良県立医科大学

担 当：研究推進課（鉄村・安田）

電 話：0744-22-3051（内線 2558）

奈良県立医科大学に AI・バイオ・工学を融合させた画期的な寄附講座がスタートします

公立大学法人奈良県立医科大学（奈良県橿原市、理事長・学長 細井裕司）は、中谷医工計測技術振興財団の長期大型研究助成を活用して、2019年2月8日付けにおいて下記の寄附講座を開設します。

- **講座名：V-iCliniX 講座**（Virtual Human InformatiX Clinic）
（生体5次元インフォマティクス国際統合ハブ）

寄 附 者 名：公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団

（東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8F）

寄 付 総 額：3億円（5年間）

設 置 期 間：2019年2月8日～2024年3月31日（5年間）

寄附講座教員：教授（寄附講座）佐藤 匠徳（Thomas N. Sato）

研 究 目 的：これまで計測されてきた生体情報に多臓器連関情報を加えた、新しい概念である「生体5次元インフォマティクス」により得られる生体情報を利用することで、疾患の予兆や重症化、全身網羅的な医薬品の効果・副作用について痛みを伴うことなく、リアルタイムで予測できる技術を開発します。さらに、本研究を通じて、医工計測・数理情報と臨床医学に精通するマルチリンガル研究者を地球規模で考え、地域社会・経済に貢献するグローバル人材の育成を行います。

◇ 佐藤教授（寄附講座）のコメント

この機会を大切に、数十年先を見据えた「知・もの・人」づくりの拠点形成・展開に「グローバル」をキーワードに全力で臨みます。

◇ 佐藤教授（寄附講座）の略歴

- ・コーネル大学（米国）Biomedical Engineering 教授
- ・国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
ERATO 佐藤ライブ予測制御プロジェクト 研究総括
- ・株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR） 佐藤匠徳特別研究所 特別研究所長

報道関係者各位

2019年2月8日

公立大学法人
奈良県立医科大学・中谷医工計測技術振興財団

第二回 長期大型研究助成

～医工計測の研究・教育に対して、中谷財団が3億円を助成～

奈良県立医科大学にAI・バイオ・工学を融合させた画期的な寄附講座を開始
「生体5次元インフォマティクス国際統合ハブ」

医工計測技術分野における技術開発や技術交流等の促進と人材の育成を目的に幅広い助成事業を展開している公益財団法人中谷医工計測技術振興財団(東京都品川区/理事長:軽部征夫)は、その助成事業の一つとして、新たな技術・学術、応用分野を開くための基盤を生み出すと共に、グローバルに活躍する若手研究者の育成を目的に、「長期大型研究助成(5年間で最大3億円)」を行っております。

そして、第二回目の長期大型研究助成により、奈良県立医科大学に「生体5次元インフォマティクス国際統合ハブ(V-iCliniX)」が2019年2月8日(金)付けで開設される運びとなりました。

講座教員である佐藤匠徳教授は「この機会を大切に、数十年先を見据えた『知・もの・人』づくりの拠点の形成と展開に『グローバル』をキーワードに全力で臨ませていただきたい」とコメント。

本講座では、これまで計測されてきた生体情報に多器官連関情報を加えた、新しい概念である「生体5次元インフォマティクス」により得られる生体情報(「知」の創出)を利用することで、疾患の予兆や重症化、全身網羅的な医薬品の効果・副作用について痛みを伴うことなく、リアルタイムで予測できる技術を開発(「もの」の創出)します。さらに、本研究を通じて、医工計測・数理情報と臨床医学に精通するマルチリンガル研究者、地球規模で考え(グローバル)、地域社会・経済に貢献(ローカル)するグローバル人材の育成(「人」の創出)を行います。

※「V-iCliniX」 --- Virtual Human InformatiX Clinic の略

<講座概要>

- 講座名:「生体5次元インフォマティクス国際統合ハブ(V-iCliniX)」
- 設置期間:2019年2月8日(金)～2024年3月31日(日)<5年間>
- 講座教員:教授(寄附講座) 佐藤 匠徳 (さとう なるとく Thomas N. Sato)

<本講座に関するお問い合わせ先>

公立大学法人奈良県立医科大学 研究推進課:鉄村・安田 0744-22-3051(内線2558)

■平成30年度 第二回「長期大型研究助成」最大合計:3億円■

氏名	所属機関・職名	研究部門/研究題目	助成金額
佐藤 匠徳 さとう なるとく	奈良県立医科大学 教授(寄附講座)	「生体5次元インフォマティクス国際統合ハブ(V-iCliniX)」 「生体5次元情報を解読する医工計測技術を創出する「知・もの・人」づくり計画	6000万円 最大5年間 (総額3億円)

<助成に関する一般・読者からの問い合わせ先>
中谷医工計測技術振興財団
事務局
<https://www.nakatani-foundation.jp>

<助成に関する報道関係者からの問い合わせ先>
共同ピーアール株式会社
PRアカウント本部9部 前山・高橋
03-3571-5238(TEL) 03-3571-5259(FAX)

技術開発研究助成【長期大型研究】

医工計測技術分野のさらなる発展のため、国内外の研究人材交流による先進的な研究や既存の枠を超えた融合的な研究により、将来的に新しい技術や学術・応用分野を拓くための基盤を生み出すと同時に次代を担うグローバルに活躍できる若手研究者の育成に資することを目的に、長期大型研究に対する助成事業を行っています。

研究分野：医工計測技術および関連分野

助成対象：医工計測技術分野のさらなる発展のため、国内外の研究人材交流による先進的な研究や既存の枠を超えた融合的な研究により、将来的に新しい技術や学術・応用分野を拓くための基盤を生み出すと同時に次代を担うグローバルに活躍できる若手研究者の育成に資する研究。
※全国的に広がりのある研究活動を重視します。

研究体制：当財団の出資による研究部門を、先進・融合的な研究及び国内外の研究人材交流を行うためのインフラを提供できる日本国内の研究機関に設立していただきます。
国内外のその他2か所以上の研究機関と共同研究コンソーシアムを形成して研究活動を行うことを条件とします。

応募資格：国内外の大学およびこれに準ずる研究機関に属する者かつ、設立する研究部門の所属する組織の協力が得られる者。
※各大学・研究機関からの応募は1件に限りませんが、各部局からは1件とします。

■公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団 概要■

公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団は、神戸の臨床検査機器・試薬メーカーであるシスメックス株式会社の創業者・故中谷太郎により昭和59年に設立され、医工計測技術分野の発展のため、先進的な研究開発や技術交流に対する助成、顕著な業績を上げた研究者への顕章を永きに渡り行って参りました。さらに先進的な研究や既存の枠を超えた研究に対して長期大型研究助成もスタートさせました。平成26年度以降、小中高校生を対象とした科学教育振興助成や理系大学生の海外リサーチインターンシップ助成、大学院生への奨学金給付等の事業を順次立ち上げ、医工計測技術の発展を担う幅広い層へのサポートを実現しています。

名称：公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団

英名：Nakatani Foundation for Advancement of Measuring Technologies in Biomedical Engineering

略称：中谷財団 (Nakatani Foundation)

設立：昭和59年4月

所在地：〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8F

目的：医工計測技術分野における先導的技術開発、技術の交流等を促進し、また人材を育成することによって、医工計測技術の広汎な発展を推進し、我が国ならびに国際社会の発展及び生活の向上に寄与することを目的とする。

- 事業：
- ①医工計測技術分野における技術開発に対する助成
 - ②医工計測技術分野における技術開発に顕著な業績をあげた研究者の表彰
 - ③医工計測技術分野における技術交流に対する助成
 - ④医工計測技術分野における技術動向等の調査研究に対する助成
 - ⑤医工計測技術分野の学生及び研究者に対する奨学金の給付
 - ⑥医工計測技術分野に関する情報の収集及び提供
 - ⑦科学教育振興に対する助成